

2022年3月期 第2四半期  
2021年 4月 1日 ~ 2021年 9月 30日

## 連結決算の概要

株式会社 ジェイ・エム・エス

( 証券コード 7702 )

2021年11月5日

# 業績ハイライト

～2022年3月期 第2四半期～



百万円

	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期		対前年同四半期		対予想 増減率
		公表予想	実績	増減額	増減率	
売上高	27,900	29,100	28,275	375	1.3%	△2.8%
営業利益	1,046	950	614	△431	△41.2%	△35.3%
経常利益	1,127	1,050	683	△444	△39.4%	△34.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,060	750	497	△562	△53.1%	△33.7%
1株当たり 四半期純利益	43円46銭	30円71銭	20円37銭	---	---	---

為替レート (期中平均)	米ドル	106.92円	108.00円	109.80円
	ユーロ	119.30円	128.00円	129.82円
	シンガポールドル	76.74円	81.00円	81.80円

～増収減益～

(対前年同四半期比)

売上	日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際標準化機構 (ISO) 対応に伴う経腸栄養関連用品が増加</li> <li>新型コロナウイルス(以下、新型コロナ)関連製品が増加</li> </ul>	利益	<ul style="list-style-type: none"> <li>増収効果があるものの、海外生産拠点の現地通貨高、原材料価格や海上輸送費の高騰による原価率上昇に加え、販売管理費の増加により営業利益は減少</li> </ul>
	海外	<ul style="list-style-type: none"> <li>AVF針(血液透析用針)が増加</li> <li>血液バッグや成分献血用回路が減少</li> </ul>	配当金	<ul style="list-style-type: none"> <li>中間配当は1株当たり8円50銭</li> </ul>

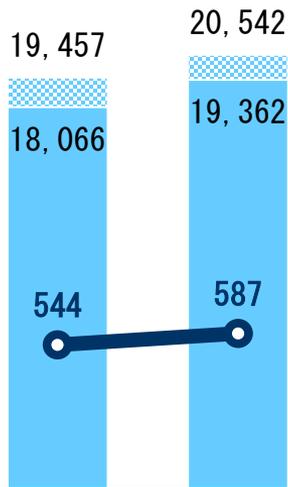
# セグメント業績

(所在地別、経常利益ベース)

百万円

## 日本

■ 内部売上高  
■ 外部売上高  
— セグメント利益



売上高  
5.6%増

セグメント  
利益  
7.8%増

2021年3月期  
第2四半期      2022年3月期  
第2四半期

### 【売上】

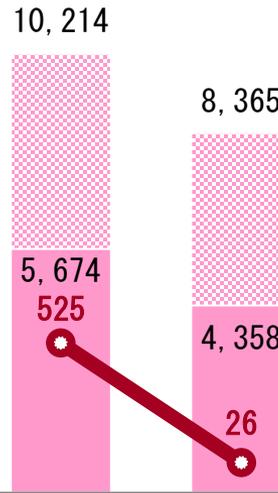
- 新型コロナによる影響から回復傾向
- 国際標準化機構 (ISO) 対応に伴う経腸栄養関連用品や新型コロナ関連製品が増加

### 【利益】

- 血液浄化事業にかかる費用増加や新型コロナ対応に伴う在庫水準の適正化による影響があるものの、増収効果により増加

## シンガポール

■ 内部売上高  
■ 外部売上高  
— セグメント利益



売上高  
18.1%減

セグメント  
利益  
94.9%減

2021年3月期  
第2四半期      2022年3月期  
第2四半期

### 【売上】

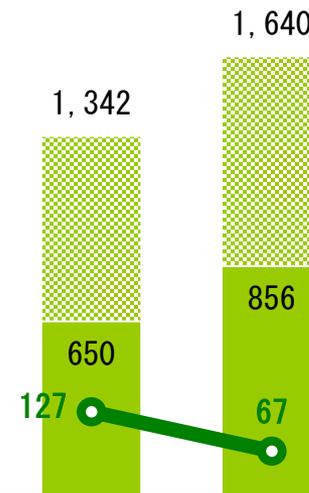
- 血液事業において採血数が減少
- 成分献血用回路や血液バッグが減少

### 【利益】

- 減収影響に加え、現地通貨高や原材料価格の高騰による原価率上昇の影響を受け減少  
※シンガポールは、生産体制を相互に補完し一体とした事業活動を行うインドネシアの現地法人を含んでいます。

## 中国

■ 内部売上高  
■ 外部売上高  
— セグメント利益



売上高  
22.3%増

セグメント  
利益  
47.0%減

2021年3月期  
第2四半期      2022年3月期  
第2四半期

### 【売上】

- 中国市場での透析患者数は増加傾向
- AVF針や日本向けの血液浄化回路が増加

### 【利益】

- 増収効果があるものの、社会保険料の減免措置があった前年同四半期に比べて労務費が増加したため減少

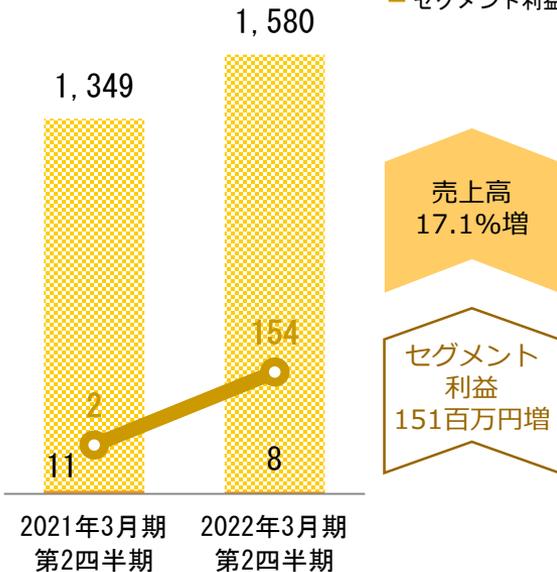
# セグメント業績

(所在地別、経常利益ベース)

百万円

## フィリピン

■ 内部売上高  
■ 外部売上高  
— セグメント利益



### 【売上】

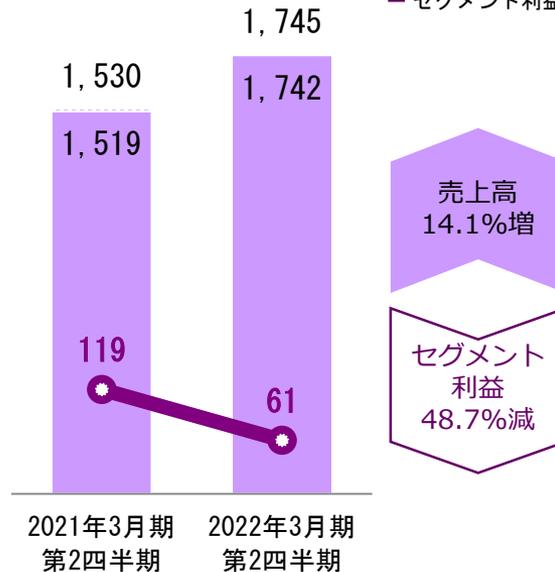
- 前年同四半期の新型コロナ影響が改善
- 欧州向けのAVF針が増加

### 【利益】

- 増収効果に加え、費用低減により増加

## ドイツ

■ 内部売上高  
■ 外部売上高  
— セグメント利益



### 【売上】

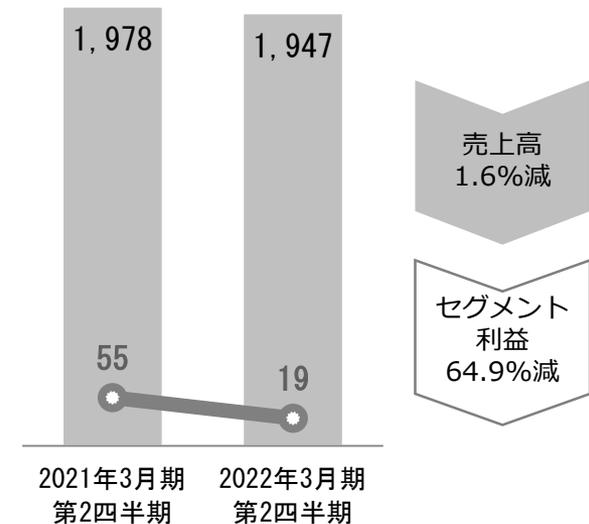
- AVF針のシェア拡大により増加

### 【利益】

- 増収効果はあるものの、海上輸送費の高騰によって仕入原価が増加したことにより減少

## その他

■ 外部売上高  
— セグメント利益

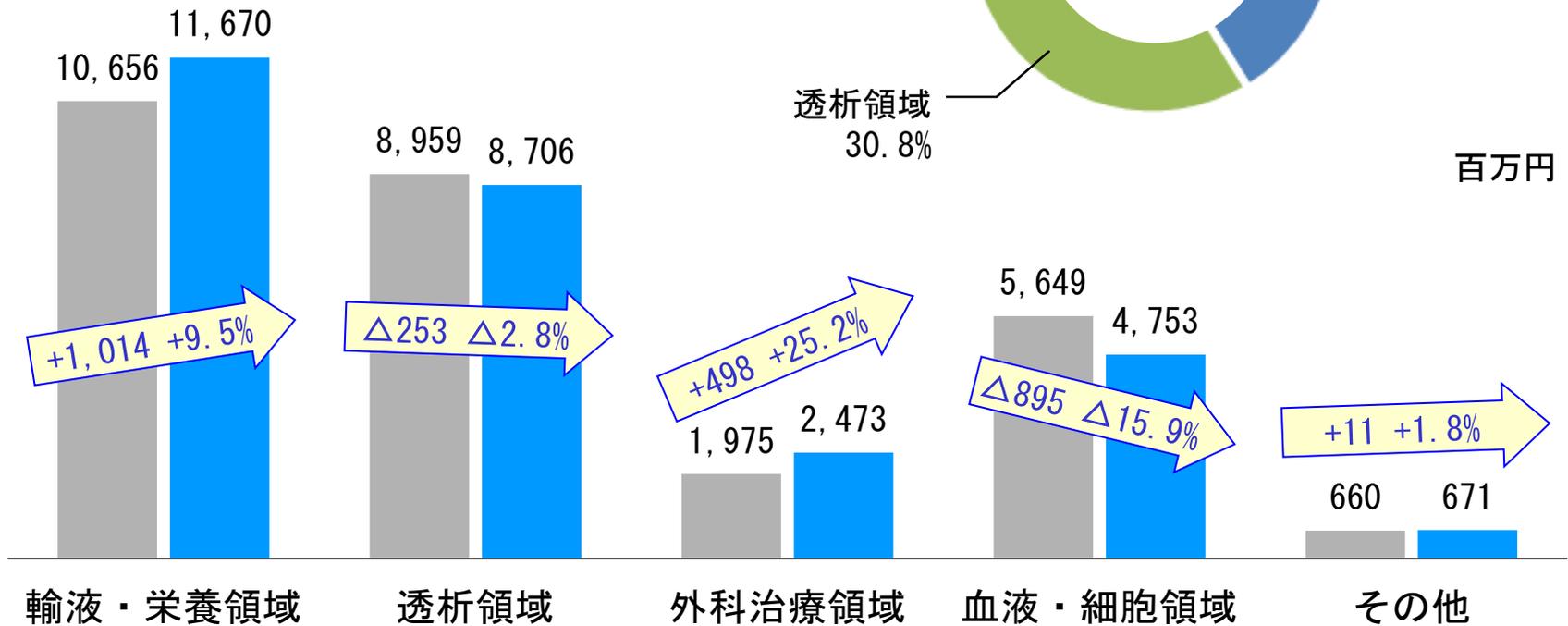
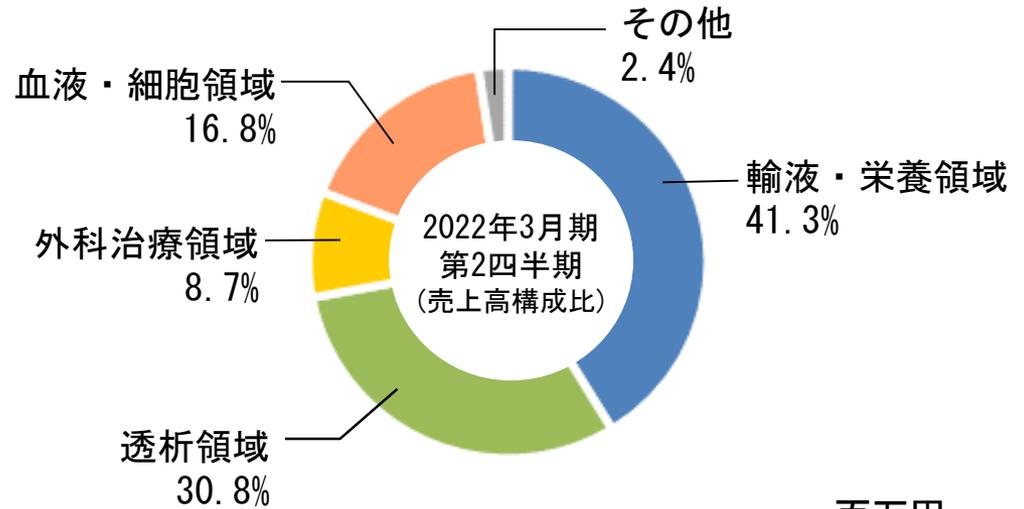


※その他は、国内子会社及びアメリカ、韓国、タイの現地法人の事業活動を含んでいます。

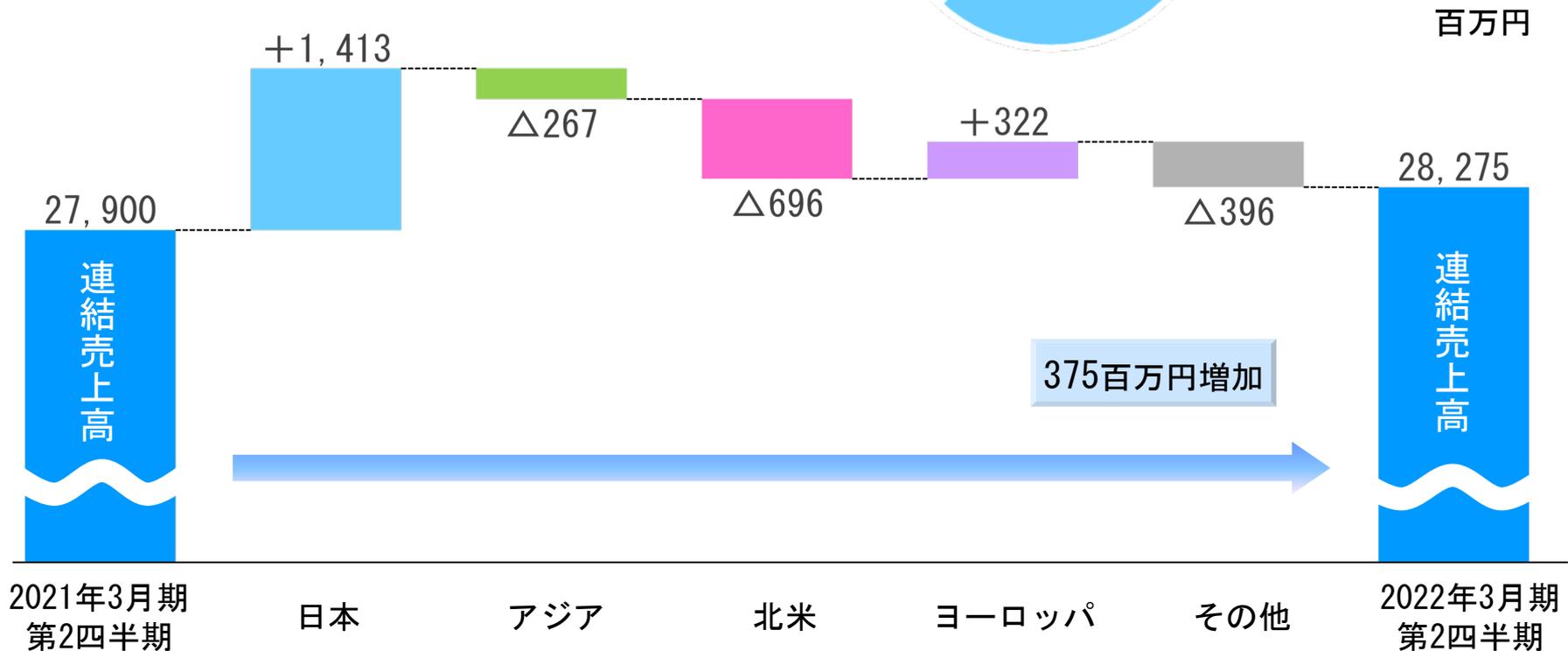
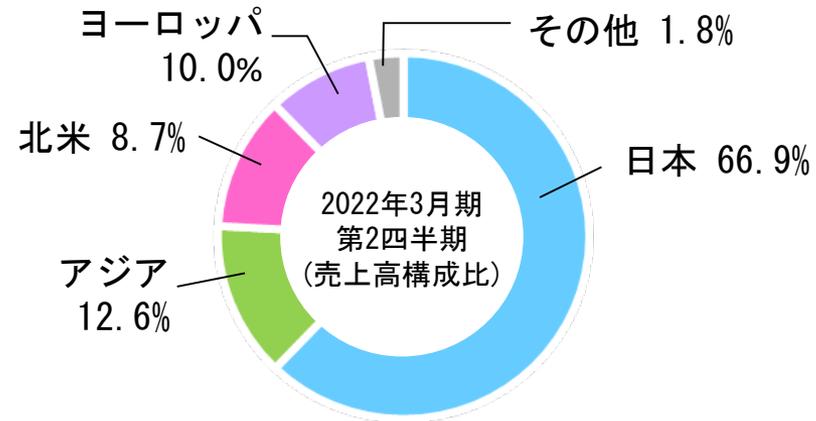
# システム別売上高

2021年3月期 第2四半期

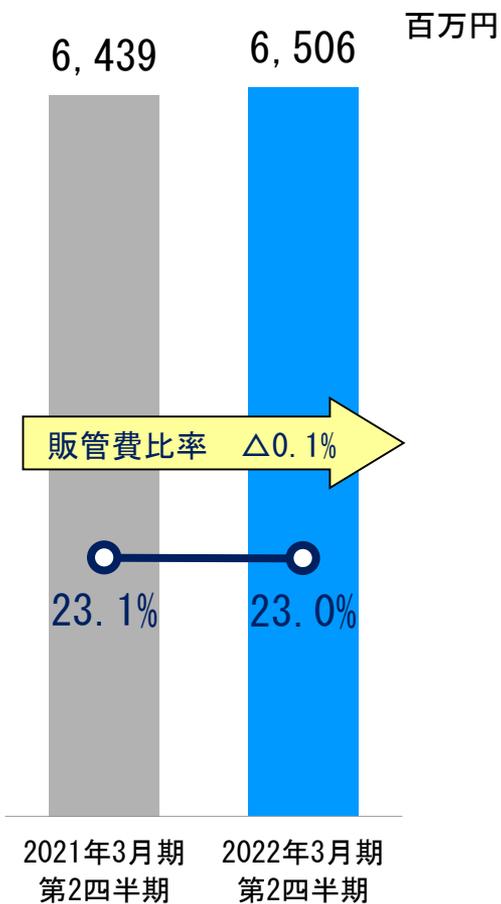
2022年3月期 第2四半期



# 売上高増減分析 (顧客所在地別)



# 販売費及び一般管理費

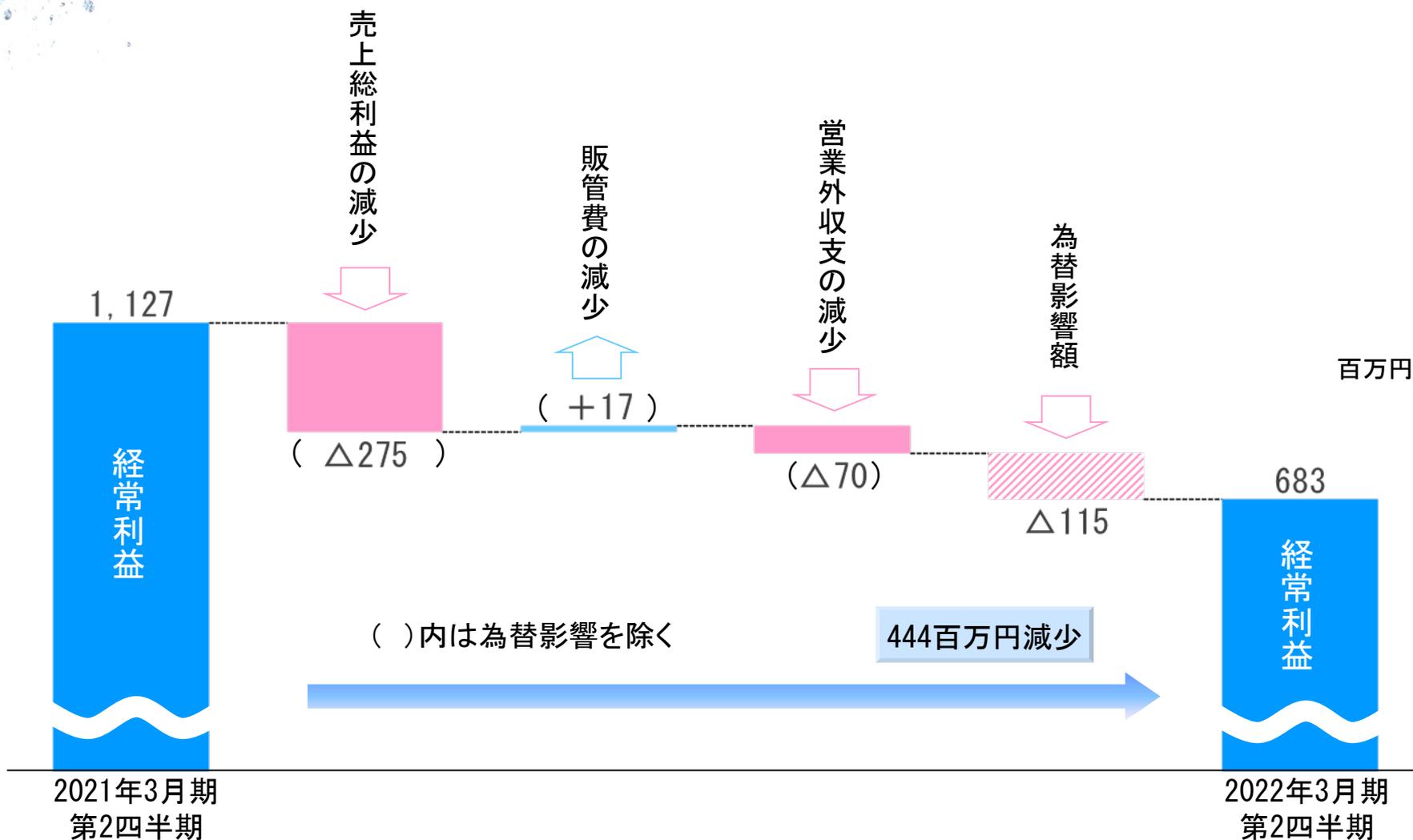


	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	増減額	対前期 増減率
人件費	2,869	2,958	89	3.1%
運送費	870	893	22	2.6%
研究開発費	798	728	$\Delta 70$	$\Delta 8.8\%$
減価償却費	168	183	15	9.2%
その他	1,731	1,741	10	0.6%
計	6,439	6,506	67	1.0%

百万円

〔研究開発費〕 前期に大型の開発が完了したため減少

# 経常利益：前期実績との比較



# 2022年3月期 通期連結業績予想

当第2四半期連結累計期間の実績を踏まえ、前回公表した2022年3月期の通期連結業績予想を修正しました。

百万円

	2021年3月期 実績	2022年3月期		対前期 増減率
		前回予想	今回予想	
売上高	57,578	58,600	58,000	0.7%
営業利益	2,127	2,100	1,200	△43.6%
経常利益	2,013	2,300	1,200	△40.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,736	1,700	900	△48.2%
1株当たり 当期純利益	71円13銭	69円61銭	36円84銭	---

為替レート（期中平均）

米ドル	106.06円	108.00円	112.00円
ユーロ	121.81円	128.00円	130.00円
シンガポールドル	77.65円	81.00円	83.00円

新型コロナによる影響が一定程度は残ると仮定して算出しております。

# トピックス

- 透析情報システム「エルゴトライ」をリニューアルしました  
2021年8月
- ワクチン接種用シリンジの供給体制を強化しました  
2021年8月
- フレゼニウスメディカルケアとの業務提携  
2021年9月
- 新市場区分「プライム市場」選択に関する取締役会決議のお知らせ  
2021年10月





人と医療のあいだに…

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。